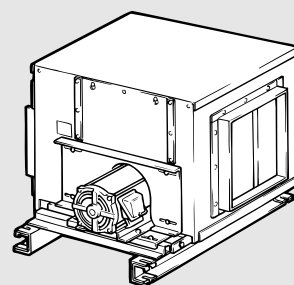
**MITSUBISHI**

0811872HJ7803

## 三菱 消音ボックス形 ストレートシロッコファン

形 名

# BFS-350TB・450TB・550TB
# BFS-650TB・800TB・1000TB
# BFS-1200TB・1400TB・1600TB・1800TB

## 三菱 消音ボックス形耐湿タイプ ストレートシロッコファン

形 名

# BFS-350TBD・550TBD

# 取付工事・取扱説明書

本文は、消音ボックス形タイプと消音ボックス形耐湿タイプの製品構造の違いにより、タイプごとに下記マークを付けています。お買いあげの機種形名とタイプを確認の上説明書をお読みください。

消音ボックス形 …消音ボックス形

消音ボックス形 耐湿タイプ …消音ボックス形耐湿タイプ

共通 …消音ボックス形と消音ボックス形耐湿タイプに共通な項目

### 工事店さまへ

取付工事を始める前に必ずこの説明書をお読みになり、正しく安全に取付けてください。
取付工事は販売店さま、または専門の工事店さまが実施してください。

■この製品には単相製品と３相製品があります。電源を確認して取付工事を行ってください。

**■取付工事終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。**

### お客さまへ

ご使用の前に必ずこの説明書をお読みになり、正しく安全にお使いください。
なお、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに添付別紙の「三菱業務用／産業用換気送風機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」とともに保管してください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

### もくじ

# 安全のために必ず守ること 共通

お客さまへ　工事店さまへ

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

| | |
|---|---|
| ⚠ 警告 | 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの |
| ⚠ 注意 | 誤った取扱いをしたときに傷害または建物・機械などの損害に結びつくもの |

## お客さまへ

### ⚠ 警告

| | |
|---|---|
|  水ぬれ禁止 | **製品を水につけたり、水をかけたりしない**<br>ショートや感電の原因。 |
|  分解禁止 | **どんな場合でも改造はしない**<br>**分解修理は修理技術者以外の人は行わない**<br>火災・感電・けがの原因。<br>修理はお買上げの販売店または当社の「三菱業務用／産業用換気送風機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」にご相談ください。 |
|  接触禁止 | **運転中は危険ですから、製品の中に指や物を入れない**<br>けがの原因。 |
| | **電源が入ったままで運転が停止しているとき、異常時（こげ臭いなど）・停電時は、製品には絶対にふれない**<br>突然運転し始めてけがや感電の原因。 |
|  ぬれ手禁止 | **ぬれた手で操作をしない**<br>感電やけがの原因。 |
|  指示に従う | **お手入れや保守点検の際は必ず分電盤のブレーカを切ってから行う**<br>感電やけがの原因。 |

### ⚠ 注意

| | |
|---|---|
|  禁止 | **製品に異常な振動が発生した場合は使用しない**<br>製品・部品の落下によりけがの原因。 |
|  指示に従う | **長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカを切る**<br>絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因。 |

## 工事店さまへ

### ⚠ 警告

| | |
|---|---|
|  禁止 | **爆発性の粉じんやガスの発生する場所または発生するおそれのある場所には取付けない**<br>爆発や火災の原因。 |
| | **定格電圧・定格周波数以外では使用しない**<br>火災・感電の原因。 |
|  指示に従う | **燃焼器具の排気ダクトには取付けない**<br>火災の原因。 |
| | **煙突で排気する燃焼器具を設置した部屋の排気に使用する場合は、排気ガスが室内に逆流しないよう、十分な大きさの給気口を設置する**<br>一酸化炭素中毒を起こす原因。 |
| | **メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に製品および製品に接続された金属製ダクトが貫通する場合、製品および金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取付ける**<br>漏電した場合、発火の原因。 |
| | **漏電ブレーカを必ず取付ける**<br>漏電のときに感電の原因。 |
| | **保守点検の際は必ず分電盤のブレーカを切ってから行う**<br>感電やけがの原因。 |
|  アース確認 | **アース工事は必ず有資格者である電気工事士が電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う**<br>故障や漏電のときに感電の原因。 |

### ⚠ 注意

| | |
|---|---|
|   禁止 | **直接炎があたるおそれのある場所には取付けない**<br>火災の原因。 |
| | **下記湿度条件の空気を製品内に通さない**<br>●消音ボックス形……………湿度 80%以上<br>●消音ボックス形耐湿タイプ…湿度 98%以上<br>感電や火災の原因。 |
| | **ドレン配管の先端を雨どい等に入れない（消音ボックス形耐湿タイプのみ）**<br>大雪時、雨どいが凍結して排水されず、ドレンパンから水漏れする原因。 |
| | **製品は屋外など雨のあたる場所や浴室など湿気の多い場所（湿度80%以上）には取付けない**<br>感電や火災の原因。 |
|  指示に従う | **製品の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う**<br>落下によりけがの原因。 |
| | **配線工事は必ず有資格者である電気工事士が内線規程や電気設備技術基準に従って安全・確実に行う**<br>接続不良や誤った配線工事は感電や火災の原因。 |
| | **ドレンが確実に排出するように、ドレン排出工事を行う（消音ボックス形耐湿タイプのみ）**<br>水漏れによる感電・火災の原因。 |
| | **開梱・取付け・保守点検およびお手入れの際は手袋を着用する**<br>端面などでけがの原因。 |

# 取付け前のお願い

共通　工事店さまへ

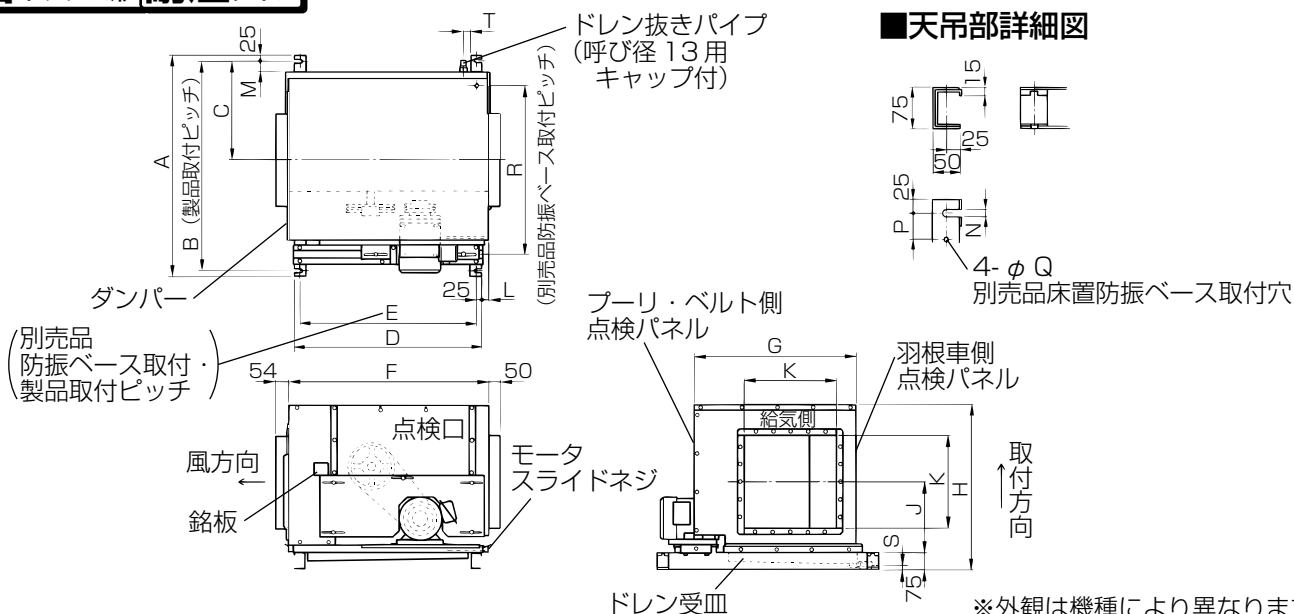
## 規　制

- 共同ダクトへ排気する場合は、建築基準法施行令により防火の役割を果たすものを使用しなければならないよう義務づけられていますので、煙逆流防止ダンパーを取付けて点検口を必ず設けてください。
- 配管用別売品については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にご相談ください。

## お願い

- 製品の取付場所が悪いと故障の原因になります。次のような場所には取付けないでください。
  - 40℃以上になる場所
  - 腐食性ガスの発生する場所や化学薬品を扱う場所
  - 氷結するおそれのある場所
  - ほこりや油煙の多い場所
  - －10℃以下になる場所
  - 温泉・温水プールなど腐食性ガスが常時、湿潤している場所
- 排気ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて 1/100 以上の下りこう配をつけ、先端にウェザーカバー（市販品）などを取付けることをおすすめします。
- 厨房等の油煙の排気には必ずグリスフィルター（市販品）等による、油の除去を行ってください。
（消音ボックス形ストレートシロッコファンは厨房等での使用は不可）
- 次のようなダクト工事はしないでください。（風量低下や異常音発生の原因になります）
  - 極端な曲げ
  - 多数の曲げ（曲げ数が多くなれば風量低下します）
  - 吐出口のすぐそばでの曲げ
  - しぼり（接続ダクト径を極端に小さくする）

# 3 各部のなまえと外形寸法図

工事店さまへ

## ■変化寸法表（消音ボックス形耐湿タイプ）

単位（mm）

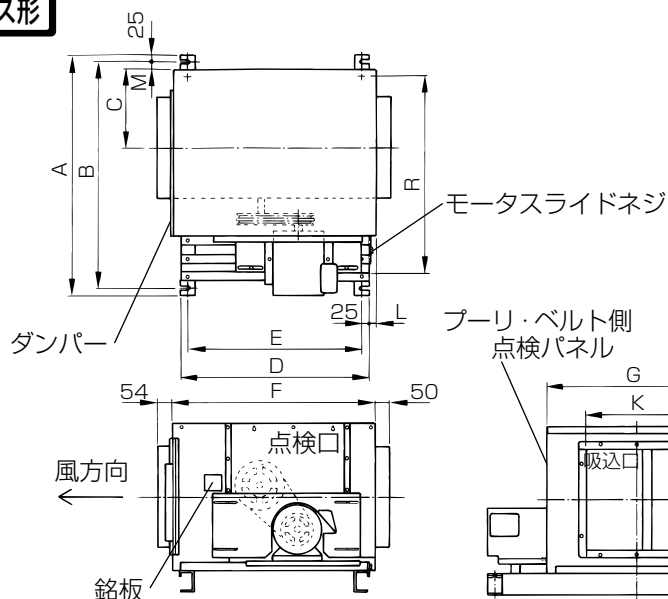
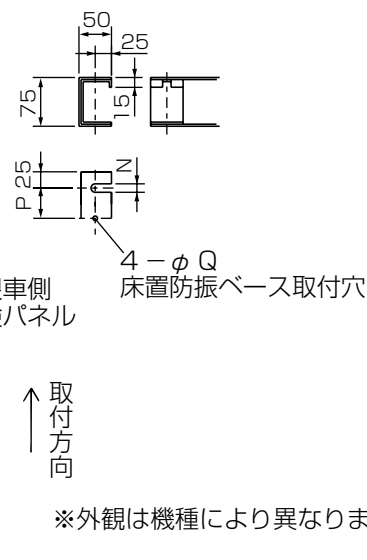
| 形　名 | A | B | C | D | E | F | G | H | J | K | L | M | N | P | Q | R | S | T | 接続ダクト寸法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| BFS-350TBD-50<br>BFS-350TBD-60 | 840 | 790 | 299 | 650 | 600 | 700 | 587 | 585 | 255 | 350 | 25 | 46 | 13 | 50 | 10 | 690 | 20 | 30 | 350×350 |
| BFS-550TBD-50<br>BFS-550TBD-60 | 950 | 900 | 357 | 800 | 750 | 850 | 693 | 705 | 300 | 400 | 25 | 46 | 13 | 50 | 10 | 800 | 20 | 30 | 400×400 |

# 各部のなまえと外形寸法図 つづき

工事店さまへ

## 消音ボックス形

■変化寸法表（消音ボックス形）

単位（㎜）

| 形　名 | A | B | C | D | E | F | G | H | J | K | L | M | N | P | Q | R | 接続ダクト寸法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| BFS-350TB-50<br>BFS-350TB-60<br>BFS-450TB-50<br>BFS-450TB-60 | 840 | 790 | 274 | 650 | 600 | 700 | 637 | 585 | 255 | 350 | 25 | 25 | 13 | 50 | 10 | 690 | 350×350 |
| BFS-550TB-50<br>BFS-550TB-60<br>BFS-650TB-50<br>BFS-650TB-60 | 950 | 900 | 332 | 800 | 750 | 850 | 743 | 705 | 300 | 400 | 25 | 25 | 13 | 50 | 10 | 800 | 400×400 |
| BFS-800TB-50<br>BFS-800TB-60<br>BFS-1000TB-50<br>BFS-1000TB-60 | 1075 | 1025 | 361 | 990 | 940 | 1040 | 840 | 825 | 375 | 500 | 25 | 25 | 13 | 50 | 10 | 925 | 500×500 |
| BFS-1200TB-50<br>BFS-1200TB-60<br>BFS-1400TB-50<br>BFS-1400TB-60 | 1320 | 1270 | 449 | 1225 | 1175 | 1276 | 1010 | 997 | 377 | 600 | 25 | 35 | 19 | 60 | 15 | 1150 | 600×600 |
| BFS-1600TB-50<br>BFS-1600TB-60<br>BFS-1800TB-50<br>BFS-1800TB-60 | 1420 | 1370 | 505 | 1380 | 1330 | 1437 | 1162 | 1077 | 450 | 750 | 28.5 | 35 | 19 | 60 | 15 | 1250 | 750×750 |

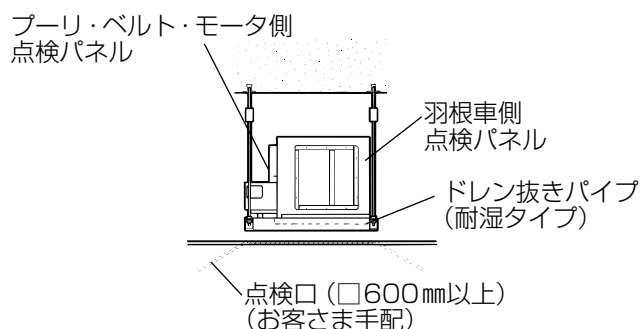
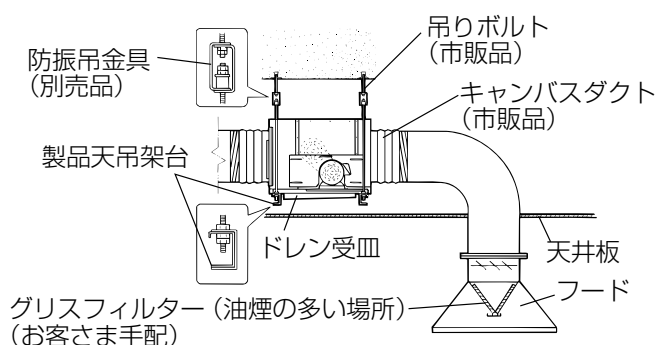
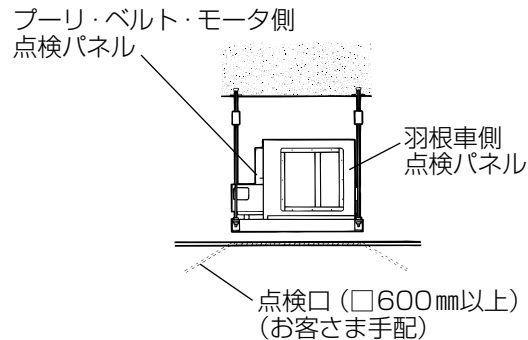
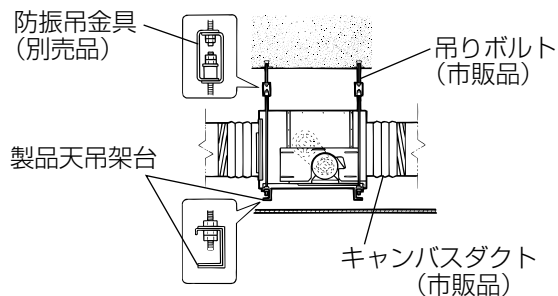
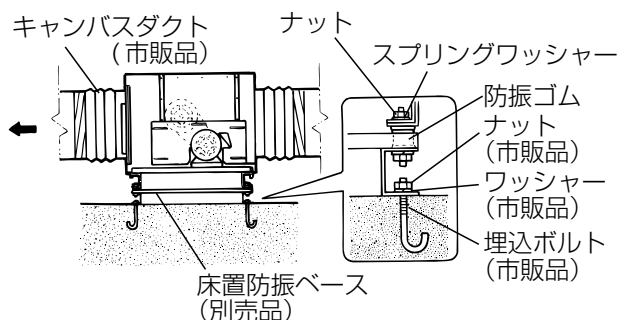
# 4 取付例

工事店さまへ

## 天吊取付けの場合

### 消音ボックス形 耐湿タイプ

# 取付例 つづき

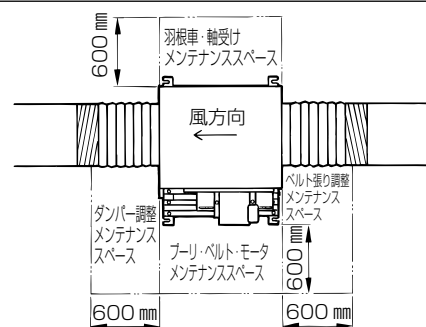
工事店さまへ

## 消音ボックス形

## 床置取付けの場合

※防振ゴム・ナット・スプリングワッシャーは
別売品の床置防振ベースに付属しています。

**お願い**

**■スペースの確保**

**プーリ・ベルト・モータ側、羽根車・軸受け側、ダンパー調整・ベルト張り調整のそれぞれの調整および点検のスペースが確保できるところに取付けてください。**

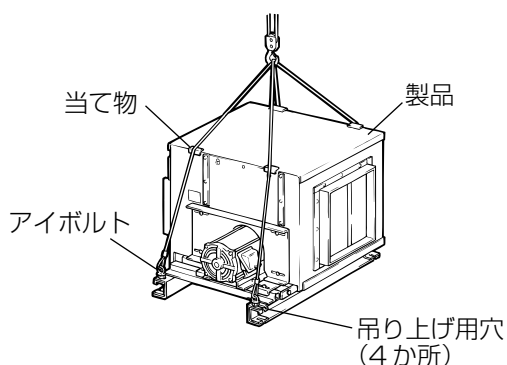
# 5 取付方法

工事店さまへ

**⚠警告**

**製品の吊り上げの際は、必ず専門業者が行う**
落下の原因。

**⚠注意**

**取付けの際は手袋を着用する**
着用しないと金属等の端面などでけがの原因。

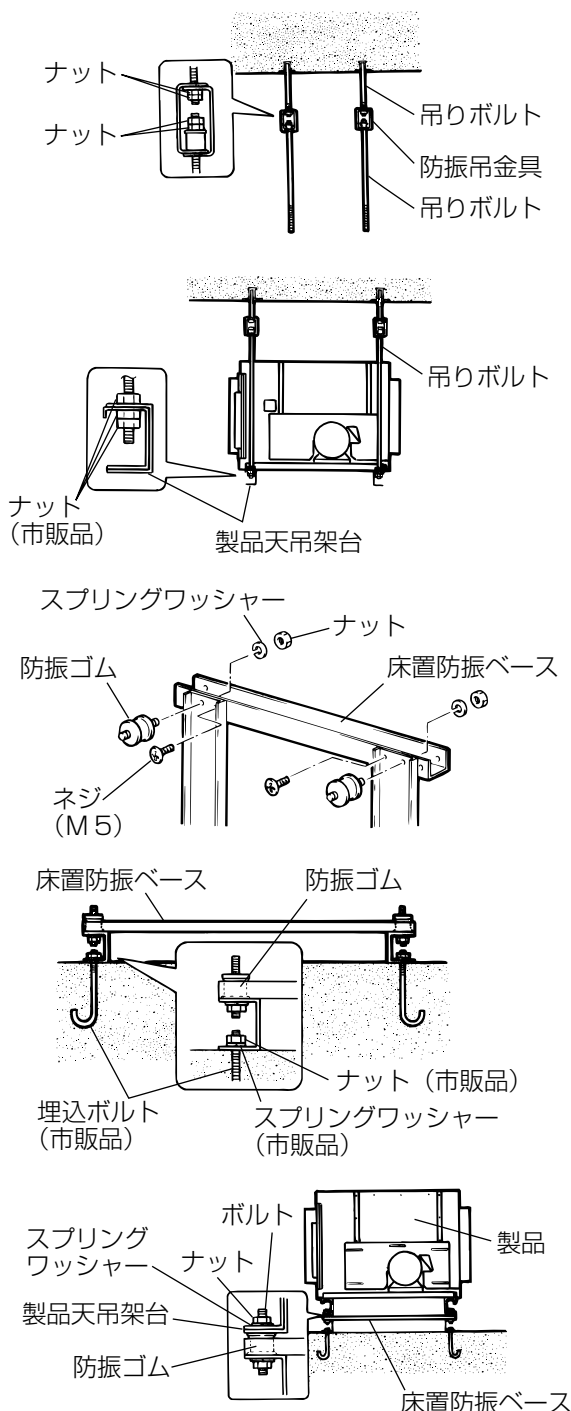
## 1.搬入のしかた

吊り上げは左図のように吊り上げ用穴(4か所)を利用して、下記のアイボルト(お客さま手配)を使用して行う。

| 形　名 | アイボルト |
|---|---|
| BFS-350TB・450TB・550TB・650TB・800TB・1000TB<br>BFS-350TBD・550TBD | M12 |
| BFS-1200TB・1400TB・1600TB・1800TB | M16 |

**お願い**

- **吊り上げは静かに衝撃を与えず、傾けないで搬入してください。**
- **製品本体とロープの接触面にはロープ切れ・変形防止のために、布などの当て物をして吊り上げてください。**

# 取付方法 つづき

## 2.製品の取付け 製品の取付けには天吊取付けと床置取付け（別売品）があります。 共通

### 天吊取付けの場合

**1** 天吊取付けには市販の吊りボルト･ナットおよび防振吊金具（別売品）が必要です。

外形寸法図を参照し、あらかじめ左図のように吊りボルトを埋め込み、防振吊金具をナットで固定する。

| 形　　名 | 推奨ボルト･ナット |
|---|---|
| BFS-350TB･450TB･550TB･650TB･800TB<br>BFS-1000TB･350TBD･550TBD | M12 |
| BFS-1200TB･1400TB･1600TB･1800TB | M16 |

**2** 製品天吊架台の取付穴を吊りボルトに通し、市販のナットで固定する。

４本の吊りボルトに均等に荷重がかかるよう水平に取付ける。

（吊りボルト引抜耐力は、BFS-350TB～1000TBおよびBFS-350TBD、550TBDの場合に6500N（660kgf）以上、BFS-1200TB～1800TBの場合に9600N（980kgf）以上であることを確認してください。）

### 床置取付けの場合

**1** 別売品の床置防振ベースの取付工事説明書に従って組立てる。

（1）床置防振ベースを付属のネジで組立てる。

（2）防振ゴムを床置防振ベースの取付穴に通し、下側からスプリングワッシャー･ナットで確実に固定する。（4か所）

**2** 十分な強度を持つコンクリート基礎に埋込ボルトM12(市販品)を埋め込み、別売品の床置防振ベースを水平に固定する。

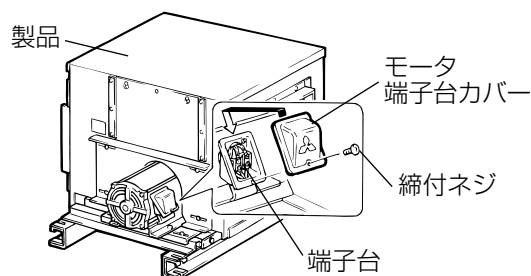
固定の際にはダブルナットをおすすめします。

**3** 製品天吊架台の取付穴を防振ゴムのボルトに通し、スプリングワッシャー・ナットで確実に締め付ける。（4か所）

固定の際にはダブルナットをおすすめします。

## 3.電気工事 共通

**お願い**

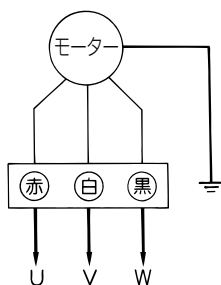
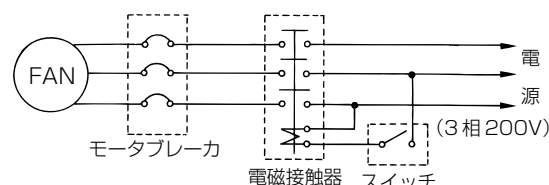
- モータの過負荷保護のため、モータブレーカまたは、電磁開閉器（電磁接触器＋サーマルリレー）などの過負荷保護装置を使用してください。（モータブレーカ等の選定は仕様の欄の最大負荷電流の 1.2 倍～ 1.5 倍程度を目安にしてください）
- 過負荷保護装置は、必ず機器 1 台毎に取付けてください。
- 電磁接触器、スイッチの容量選定にあたってはモータブレーカ選定電流×接続台数の容量としてください。また、電磁接触器を操作するスイッチの場合のスイッチ容量は電磁接触器の操作コイル電流以上としてください。
- ダクトを接続する前に必ず回転方向を確認してください。電源接続を間違えますと逆回転します。（風量低下の原因となります）回転方向が逆の場合は３本の電源のうち２本を入換えてください。

## 結線をする

(1) モータ端子台カバー締付ネジ（1本）をゆるめ、モータ端子台カバーをはずし、電源コードを間違えないよう端子台に接続する。（結線図参照）
(2) 電気工事士によるD種接地工事（アース）を行う。
(3) 元通りモータ端子台カバーを取付ける。

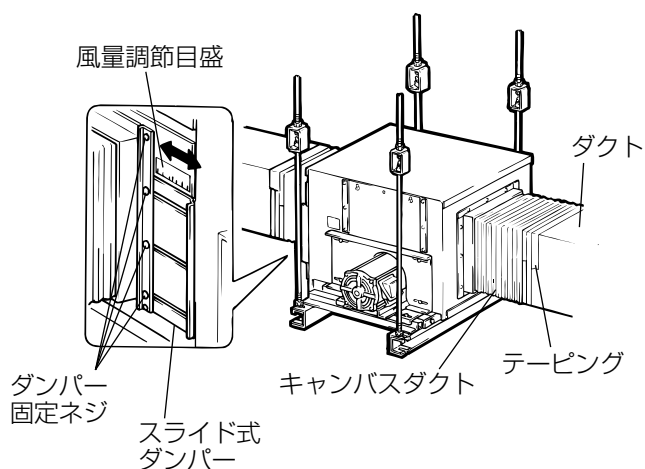
### ■結線図

太線部分を結線する
〔適用電線　単線（下表による）例VVF〕

**電源電線およびアース線**

| 形　　名 | 線径 |
|---|---|
| BFS-350TB･450TB･550TB<br>BFS-650TB･800TB<br>BFS-350TBD･550TBD | φ 1.6 |
| BFS-1000TB･1200TB | φ 2.0 |
| BFS-1400TB･1600TB | φ 2.6 |
| BFS-1800TB | φ 3.2 |

### ■配線図

※モータブレーカ・電磁接触器・スイッチはお客さま手配です。

## 4.ダクト工事

**共通**

### 1 給気側・排気側ともフランジにキャンバスダクトなどの不燃性の伸縮継手を介して接続する。

(1) フランジにキャンバスダクトを差し込みリベットで固定し、風漏れのないよう、シール剤を塗布し、市販のアルミテープでテーピングする。
(2) ダクトは製品に力が加わらないよう天井から吊る。
(3) ダクトの吸込口にはフィルターや金網（市販品）を取付け、異物がファンに吸い込まれないようにする。

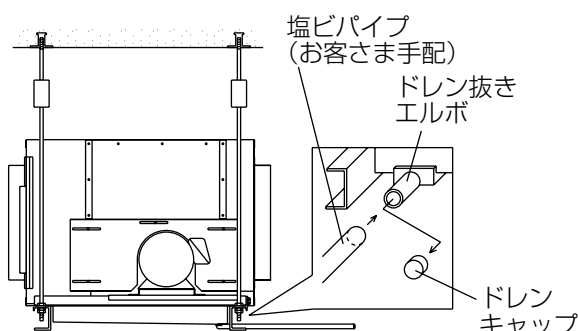
### 2 風量調節をする。

風量調節目盛は、工場出荷時「100」の位置になっています。
(1) 試運転終了後、ダンパー固定ネジをゆるめる。
(2) スライド式ダンパーをスライドさせ、風量調節目盛のお好みの位置でゆるめたダンパー固定ネジを締め付ける。

**お願い**

- 運転中の風量調節は行わないでください。

## 5.ドレン抜き工事

**消音**ボックス形 **耐湿**タイプ

### 1 ドレン抜きエルボのキャップを取りはずす。

### 2 呼径13用塩ビパイプで接続する。

ドレン抜きエルボの差し込み径は、呼径13です。

**お願い**

- ドレン配管から水が漏れないように工事を行ってください。
- ドレン配管の途中に水がたまらないように工事を行ってください。
- ドレン配管の先端は必ず排水可能なところまで導きドレン処理を行ってください。

# 6 試運転

共通　工事店さまへ

**取付工事終了後は、必ず試運転を行い、次のことを確認します。**

1. 製品は確実に取付けてありますか。
2. 電源電圧は正しいですか。
3. 正しく結線されていますか。
4. 正しくアース工事はしてありますか。
5. モータブレーカは正常に作動しますか。
6. 異常な振動や騒音・風漏れはありませんか。
7. 回転方向は逆ではありませんか。(3本の電源のうち2本を入換える)
8. Vベルトの張りを確認する。Vベルトの張りは出荷時に調整してありますが、ベルトがプーリになじむには数日間かかるので、数日間運転後「保守点検」(8・9ページ)を参照のうえベルトの張りを調整する。

# 7 保守点検

共通　工事店さまへ

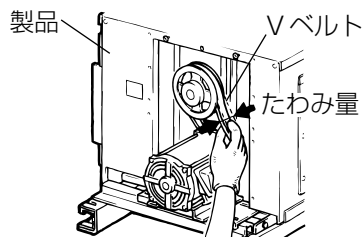
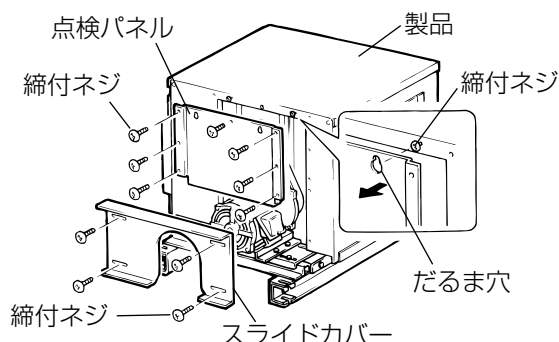
**⚠警告**

**保守点検の際は必ず分電盤のブレーカを切る**
感電やけがの原因。

**⚠注意**

**保守点検の際は手袋を着用する**
端面などでけがの原因。

**送風機の点検整備は、少なくとも1年に1回程度下記の要領で行ってください。**

## 1.Vベルトの張り状態の点検

**1** スライドカバー・点検パネル(2か所ダルマ穴)を左図のように取りはずす。

(1) スライドカバーの締付ネジをはずし、スライドカバーを取りはずす。
(2) 点検パネルのダルマ穴以外の締付ネジをはずす。
(3) ダルマ穴の締付ネジをゆるめ、点検パネルを取りはずす。

**2** たわみ量の点検をする。

Vベルトのたわみ量は左図のように中央部を押さえて点検する。

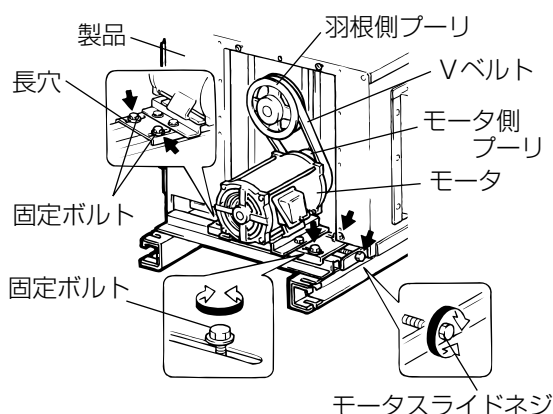
- 最適たわみ量は次のページの表を参照する。
- Vベルトの張り不足はスリップの原因になりVベルトの寿命を縮めます。またVベルトの張りすぎは過負荷の原因になり、Vベルトとベアリングの寿命を縮めます。
- 張りを調整しても起動時やスターデルタ変換時に若干のスベリ音が発生する場合がありますがスベリ時間が短いようであれば問題ありませんのでVベルトがなじむまでしばらく様子を見てください。

**3** 交換・張り直しをする。

(1) 固定ボルト(4本)をゆるめる。
(2) モータスライドネジ(1本)をゆるめて、モータをスライドさせる。
(3) Vベルトを交換する。(ベルトサイズは次のページの表を参照)
(4) モータをスライドさせ、Vベルトの張りを確認しながら、モータスライドネジを締める。
(5) 固定ボルト(4本)を締め付ける。
(6) もう一度Vベルトの張りを確認する。
- たわみ量と荷重を次のページの表により確認する。

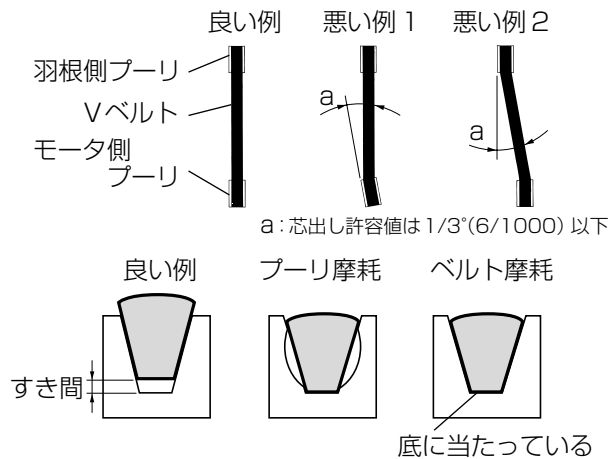
**4** 点検パネルとスライドカバーを元通り取付けて締付ネジを確実に締め付ける。

# 保守点検 つづき

共通　工事店さまへ

■Vベルト仕様

| 形　　名 | たわみ量(mm) | 荷　重(N/本) | Vベルト | 形　　名 | たわみ量(mm) | 荷　重(N/本) | Vベルト |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| BFS-350TB-50 | 3.2 | 11.8(1.2) | A形34インチ1本 | BFS-1200TB-50 | 8.5 | 17.7 (1.8) | B形69インチ3本 |
| BFS-350TB-60 | | | A形33インチ1本 | BFS-1200TB-60 | | | B形68インチ3本 |
| BFS-450TB-50 | 3.2 | 11.8(1.2) | A形35インチ1本 | BFS-1400TB-50 | 8.5 | 17.7 (1.8) | B形69インチ3本 |
| BFS-450TB-60 | | | A形34インチ1本 | BFS-1400TB-60 | | | B形68インチ3本 |
| BFS-550TB-50 | 4.5 | 11.8(1.2) | A形44インチ2本 | BFS-1600TB-50 | 8.7 | 17.7 (1.8) | B形76インチ3本 |
| BFS-550TB-60 | | | A形43インチ2本 | BFS-1600TB-60 | | | B形75インチ3本 |
| BFS-650TB-50 | 4.5 | 11.8(1.2) | A形44インチ2本 | BFS-1800TB-50 | 8.7 | 17.7 (1.8) | B形77インチ3本 |
| BFS-650TB-60 | | | A形43インチ2本 | BFS-1800TB-60 | | | B形76インチ3本 |
| BFS-800TB-50 | 5.5 | 12.7(1.3) | A形52インチ2本 | BFS-350TBD-50 | 3.2 | 11.8 (1.2) | A形34インチ1本 |
| BFS-800TB-60 | | | A形51インチ2本 | BFS-350TBD-60 | | | A形33インチ1本 |
| BFS-1000TB-50 | 5.5 | 12.7(1.3) | A形52インチ2本 | BFS-550TBD-50 | 4.5 | 11.8 (1.2) | A形44インチ2本 |
| BFS-1000TB-60 | | | A形51インチ2本 | BFS-550TBD-60 | | | A形43インチ2本 |

**お願い**

**プーリを下図のように平行にし、Vベルトを取付けてください。（良い例）**
**Vベルトがズレて取付けてあると（悪い例1，2）、故障・振動の原因になります。**

- **Vベルトの脱着時にはけがのないよう十分注意してください。**
- **Vベルトは消耗品です。定期的に交換してください。（交換時期の目安は3000時間運転前後です。）**
- **Vベルトを交換する場合はすべて交換してください。新・旧ベルトの併用は長さおよび応力に対する伸びが不揃いとなり、耐久力を減少させます。**
- **Vベルトの交換・張り直し後もVベルトがプーリになじむには数日間かかりますので、数日間運転後（50時間を目安に）ベルトの張り調整を行ってください。**
- **Vベルトの張りおよび摩耗の確認は、定期的に行ってください。**
- **プーリ摩耗・ベルト摩耗が発生した場合は、Vプーリ・Vベルトを交換してください。故障の原因となります。**

## 2.軸受けの点検

### BFS-350TB～1000TBタイプ、BFS-350TBD、550TBDタイプの場合

軸受けは無給油式ベアリングユニットを使用していますので、給油の必要はありませんが異常音の発生・潤滑不良・長時間（10,000時間）使用によるグリース切れがありましたらベアリングユニットごと交換する。交換時は現品を確認のうえ同一サイズを取付ける。

■交換品の形名

| タイプ＼交換品 | ベアリングユニット（サービス部品） |
|---|---|
| BFS-350TB･450TB･350TBD | A-UC205D2/5K |
| BFS-550TB･650TB･550TBD | A-UC206D2/5K |
| BFS-800TB･1000TB | A-UC207D2/5K |

### BFS-1200TB～1800TBタイプの場合

軸受けの給油は給油穴のグリース硬化による給油不能や諸条件に対する安全性を考慮し、約1500時間ごとに行う。

### グリース補給方法

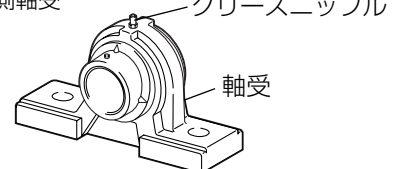
定量器付グリースポンプで右記の補給量を給油するか、または手動式グリースガンでグリースニップルから補給し、余剰グリースがにじみでてくるまで給油する。

■グリース補給量

| BFS-1200TB･1400TB･1600TB･1800TBタイプ | | | |
|---|---|---|---|
| プーリ側 | | 羽根側 | |
| 軸受番号 | UCPE209 | 軸受番号 | UCPE206 |
| 補給量（g） | 8 | 補給量（g） | 3 |
| グリース | マルテンプSRL | グリース | マルテンプSRL |
| メーカ | NTN株式会社 | メーカ | NTN株式会社 |

●羽根側及びプーリ側軸受

グリースニップル

軸受

※上記以外のグリース使用は故障の原因になります。

# 保守点検 つづき

## 3.製品の分解要領

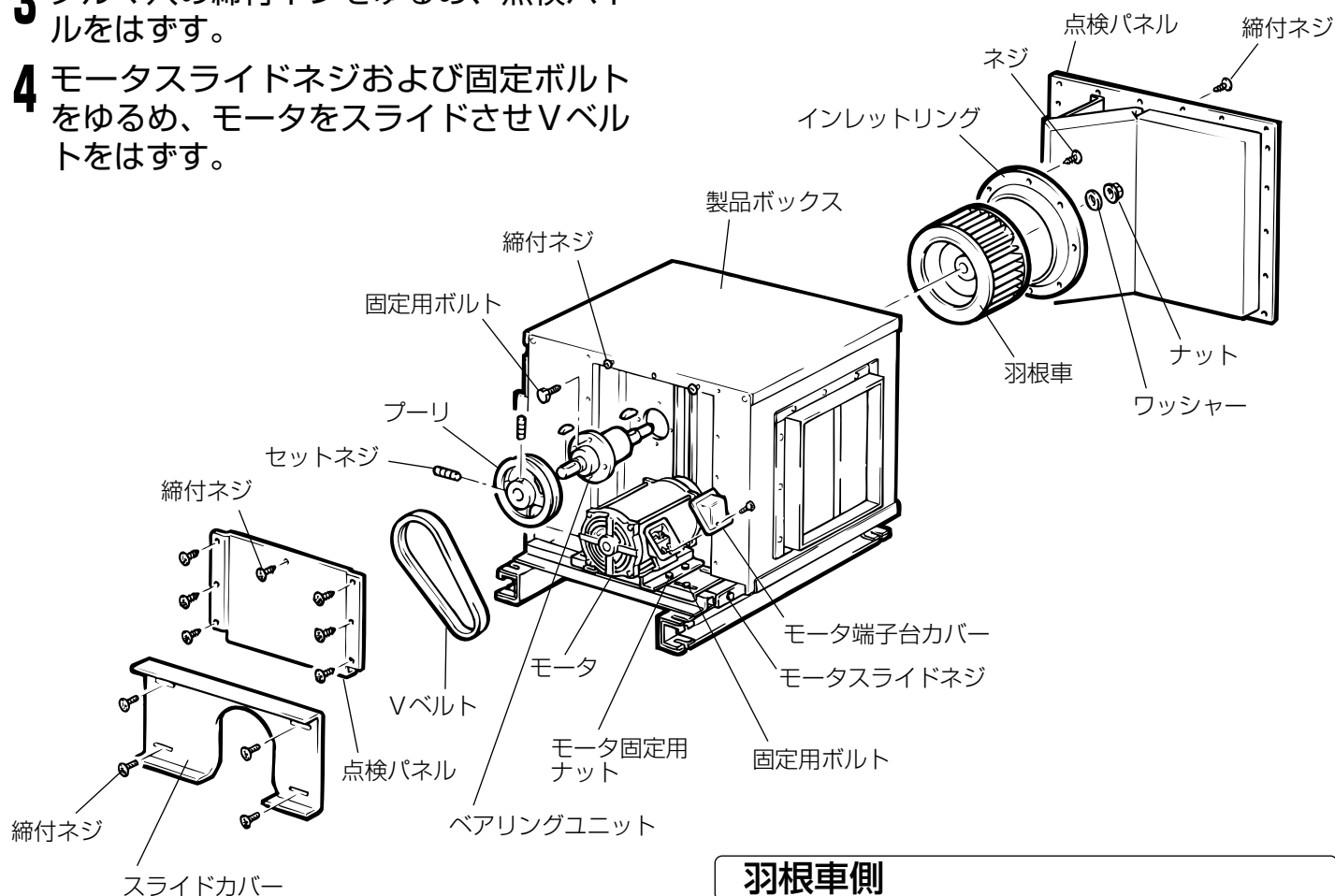
**BFS-350TB～1000TBタイプ、BFS-350TBD、550TBDタイプの場合**

### プーリ･ベルト･モータ側

1. スライドカバーの締付ネジをはずし、スライドカバーを取りはずす。
2. 点検パネルのダルマ穴以外の締付ネジをはずす。
3. ダルマ穴の締付ネジをゆるめ、点検パネルをはずす。
4. モータスライドネジおよび固定ボルトをゆるめ、モータをスライドさせVベルトをはずす。
5. モータ固定用ナットをはずし、モータを取りはずす。
6. 2本のセットネジをはずしてプーリを取りはずす。

点検パネル
締付ネジ
ネジ
インレットリング
製品ボックス
締付ネジ
固定用ボルト
羽根車
ナット
ワッシャー
プーリ
セットネジ
締付ネジ
モータ端子台カバー
モータ
モータスライドネジ
Vベルト
モータ固定用
ナット
固定用ボルト
点検パネル
ベアリングユニット
締付ネジ
スライドカバー

**お願い**

- **組立て時、プーリ、羽根車の締め付けは確実に行ってください。**振動・騒音の原因になります。

### 羽根車側

7. 点検パネルの締付ネジをはずして、点検パネルをはずす。
8. インレットリングの締付ネジ８本をはずし、インレットリングを取りはずす。
9. ナット・ワッシャーをはずし、羽根車を取りはずす。
10. 最後にベアリングユニットの固定用ボルト４本をはずし、ベアリングユニットを取りはずす。
11. 取付けは取りはずしと逆の順序で行う。

## BFS-1200TB～1800TBタイプの場合

### プーリ･ベルト･モータ側

**1** スライドカバーの締付ネジをはずし、スライドカバーを取りはずす。

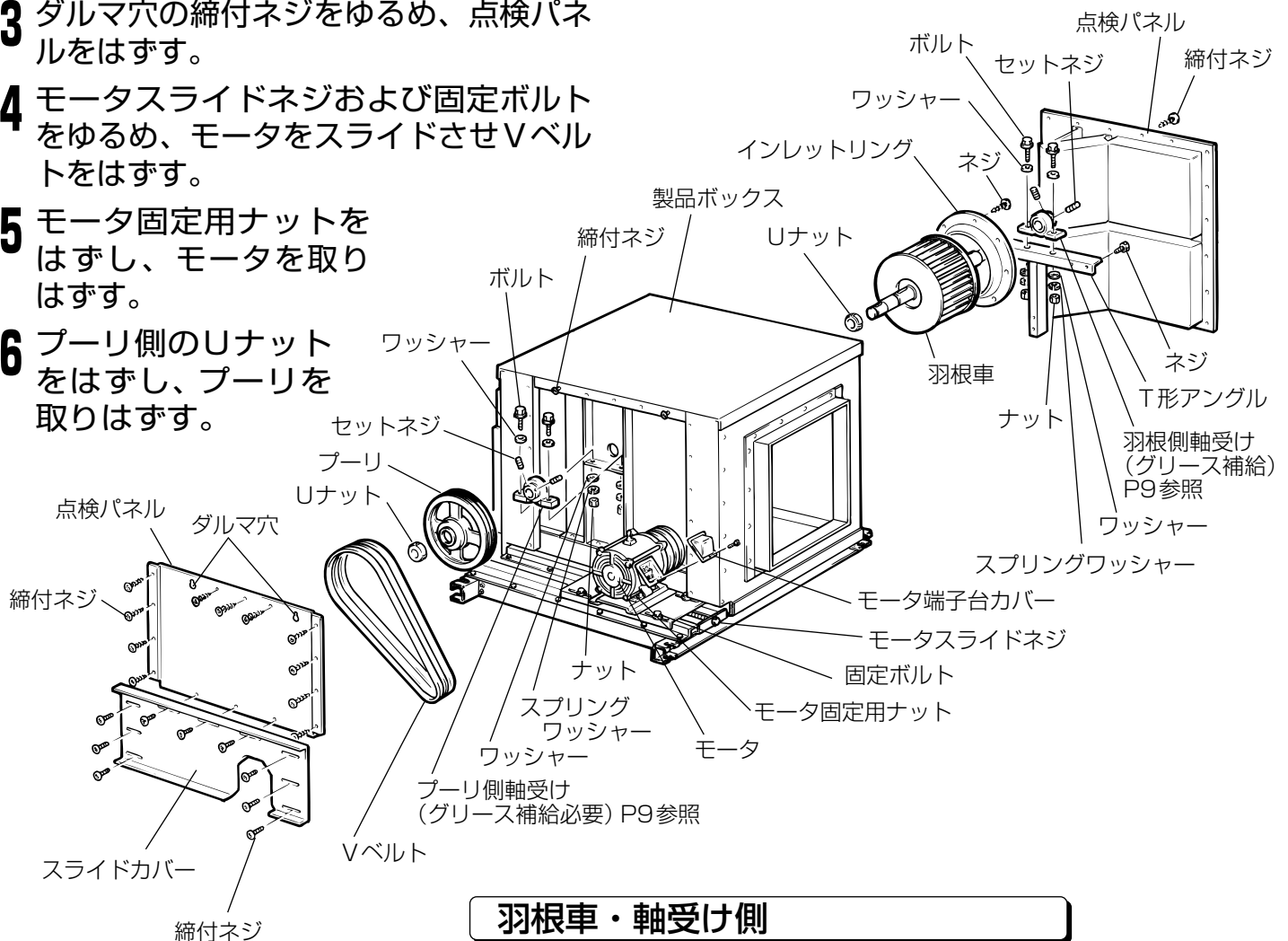
**2** 点検パネルのダルマ穴以外の締付ネジをはずす。

**3** ダルマ穴の締付ネジをゆるめ、点検パネルをはずす。

**4** モータスライドネジおよび固定ボルトをゆるめ、モータをスライドさせVベルトをはずす。

**5** モータ固定用ナットをはずし、モータを取りはずす。

**6** プーリ側のUナットをはずし、プーリを取りはずす。

**7** プーリ側軸受けのセットネジ（2本）をゆるめ､ボルト･ナット･ワッシャー･スプリングワッシャーをはずし、プーリ側軸受けを取りはずす。

### 羽根車・軸受け側

**8** 点検パネルの締付ネジをはずして、点検パネルをはずす。

**9** 羽根車側軸受けのセットネジ（2本）をゆるめ、ボルト・ナット・スプリングワッシャー・ワッシャーをはずし、羽根車側軸受けをはずす。

**10** T形アングルのネジをはずし、T形アングルをはずす。

**11** インレットリング締付ネジ8本をはずし、インレットリングを取りはずす。

**12** 羽根車を取りはずす。

**13** 取付けは取りはずしと逆の順序で行う。

**お願い**

- **組立て時、プーリ、羽根車の締め付けは確実に行ってください。**振動・騒音の原因になります。

# お手入れのしかた

共通　(お客さまへ)

**お手入れの際は必ず分電盤のブレーカを切る**
感電やけがの原因。

⚠注意
**お手入れの際は手袋を着用する**
着用しないと金属等の端面でけがをする原因。

■フィルターや金網（給気側）をご使用の場合は清掃を行ってください。
給気側に取付けられた市販品のフィルターや金網は種類・仕様により清掃方法も異なります。
- ●フィルターや金網の目づまりは風量の極端な減少の原因になります。

# 9 アフターサービス

共通 

三菱ストレートシロッコファンのアフターサービスは、お買上げの販売店かお近くの「三菱業務用 / 産業用換気送風機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」（別紙）にご相談ください。

## 補修用性能部品の保有期間

当社はこの**三菱** 消音ボックス形 **ストレートシロッコファン、三菱** 消音ボックス形耐湿タイプ **ストレートシロッコファン**の補修用**性能部品**を製造打切り後**7**年保有しています。
補修用**性能部品**とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

# 仕様

(お客さまへ)

### 消音ボックス形

| 形　名 | 電　源 | 周波数 | 公称出力 (W) | 極数 (P) | 羽根サイズ (㎝) | 羽根サイズ 番手 | 質量 (kg) | 最大負荷電流 (A) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| BFS-350TB-50 | 3相200V | 50Hz | 0.75 | 4 | 30 | #2 | 72 | 4.2 |
| BFS-350TB-60 | | 60Hz | 0.75 | 4 | 30 | #2 | 72 | 4.0 |
| BFS-450TB-50 | | 50Hz | 1.5 | 4 | 30 | #2 | 78 | 7.3 |
| BFS-450TB-60 | | 60Hz | 1.5 | 4 | 30 | #2 | 78 | 7.0 |
| BFS-550TB-50 | | 50Hz | 1.5 | 4 | 38 | #2 1/2 | 100 | 7.0 |
| BFS-550TB-60 | | 60Hz | 1.5 | 4 | 38 | #2 1/2 | 100 | 6.5 |
| BFS-650TB-50 | | 50Hz | 2.2 | 4 | 38 | #2 1/2 | 106 | 9.0 |
| BFS-650TB-60 | | 60Hz | 2.2 | 4 | 38 | #2 1/2 | 106 | 9.5 |
| BFS-800TB-50 | | 50Hz | 2.2 | 4 | 45 | #3 | 152 | 10.8 |
| BFS-800TB-60 | | 60Hz | 2.2 | 4 | 45 | #3 | 152 | 10.8 |
| BFS-1000TB-50 | | 50Hz | 3.7 | 4 | 45 | #3 | 160 | 18.0 |
| BFS-1000TB-60 | | 60Hz | 3.7 | 4 | 45 | #3 | 160 | 16.0 |
| BFS-1200TB-50 | | 50Hz | 3.7 | 4 | 53 | #3 1/2 | 257 | 15.0 |
| BFS-1200TB-60 | | 60Hz | 3.7 | 4 | 53 | #3 1/2 | 257 | 14.2 |
| BFS-1400TB-50 | | 50Hz | 5.5 | 4 | 53 | #3 1/2 | 267 | 22.4 |
| BFS-1400TB-60 | | 60Hz | 5.5 | 4 | 53 | #3 1/2 | 267 | 21.4 |
| BFS-1600TB-50 | | 50Hz | 5.5 | 4 | 60 | #4 | 312 | 22.4 |
| BFS-1600TB-60 | | 60Hz | 5.5 | 4 | 60 | #4 | 312 | 21.4 |
| BFS-1800TB-50 | | 50Hz | 7.5 | 4 | 60 | #4 | 324 | 29.0 |
| BFS-1800TB-60 | | 60Hz | 7.5 | 4 | 60 | #4 | 324 | 28.0 |

### 消音ボックス形耐湿タイプ

| 形　名 | 電　源 | 周波数 | 公称出力 (W) | 極数 (P) | 羽根サイズ (㎝) | 羽根サイズ 番手 | 質量 (kg) | 最大負荷電流 (A) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| BFS-350TBD-50 | 3相200V | 50Hz | 0.75 | 4 | 30 | #2 | 72 | 3.7 |
| BFS-350TBD-60 | | 60Hz | 0.75 | 4 | 30 | #2 | 72 | 3.4 |
| BFS-550TBD-50 | | 50Hz | 1.5 | 4 | 38 | #2 1/2 | 100 | 6.6 |
| BFS-550TBD-60 | | 60Hz | 1.5 | 4 | 38 | #2 1/2 | 100 | 6.2 |

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508−8666 岐阜県中津川市駒場町１番３号 電話 0573−66−2111